

日本多施設共同コーホート研究（J-MICC Study）
平成 27 年度第 1 回全体会議 議事録

日時：平成 27 年 6 月 21 日（日） 11:40～17:30

場所：名古屋大学医学部 基礎棟 3 階 講義室 1（名古屋市昭和区鶴舞町 65）

出席者（敬称略）：

田中英夫（主任研究者）、永瀬浩喜（三上代理）、栗木清典、鈴木貞夫、細野覚代、喜多義邦、三浦克之、渡邊能行、有澤孝吉、田中恵太郎、嶽崎俊郎、大中佳三、古庄憲浩、江口英孝、久保充明、山田宏哉（橋本修二 代理）、永田知里、今枝奈保美、後藤千穂、武林 亨、原田 成、川崎 良、寶澤 篤、清水厚志、遠藤 香、伊藤秀美、尾瀬 功、渡邊美貴、中川弘子、田村高志、栗山長門、尾崎悦子、小山晃英、高嶋直敬、上村浩一、釜野桜子、山口美輪、石津 将、小柳友理子、志水元洋、島ノ江千里、指宿りえ、嶋谷圭一、下敷領 一平、高塚康弘、石塚千洋、松尾洋孝、中島 宏、中山昌喜、大西丈二、近藤高明、林 由美、林 明奈、吉永雅史（加藤昌志 代理）、中朽昌弘、藤原順子、森田えみ

中釜 斉、村上善則、岩崎 基（以上、研究モニタリング委員）

中央事務局（浜島信之、若井建志、内藤真理子、菱田朝陽、川合紗世、岡田理恵子、須磨紫乃、服部雄太、篠壁多恵、清木俊雄、高木咲穂子、松永貴史、奥山教子、増田まゆ子、服部秀美）

1. 倫理審査実施状況について

中央事務局より、愛知県がんセンター、名古屋大学の倫理審査委員会への申請状況について報告があった。

2. 研究進捗状況について

中央事務局より、ベースライン調査および第二次調査について、平成 27 年 6 月現在の研究協力者の状況および中央事務局保管の生体試料数の報告がなされた。

3. 共同研究促進委員会からの報告

共同研究促進委員会の活動の一環として、共同研究の進捗状況について、中央事務局から報告がなされた。

4. ベースライン調査結果（概要）および出版について

主任研究者より、J-MICC 研究のベースラインデータ調査結果を用いた出版物発行に向けての企画案が示された。

5. 追跡調査について

中央事務局より、死亡小票閲覧申請のルールや追跡データ提出のフォーマットについて説

明がなされた。

6. 循環器疾患・糖尿病グループからの報告

中央事務局より、循環器疾患と糖尿病に関する共同研究に向けたワーキンググループが組織され、本年3月7日に会議が開催されたことが報告された。また本年度も9月28日にグループ会議を開催する予定が述べられた。

7. 第二次調査の今後の予定について

中央事務局より、第二次調査の年度別実施対象者数の集計結果が報告された。

8. 第二次調査のデータ入力、生体試料提出について

中央事務局より、第二次調査のデータならびに生体試料提出時の留意事項について説明がなされた。

8 (追加) . 日本多施設共同コホート研究 10周年シンポジウムについて

主任研究者より、J-MICC Study 開始から10年が経過したことを記念して、シンポジウムを本年12月11日に開催することについて、説明がなされた。

9. 食物摂取頻度調査票の妥当性・再現性検討について

食事調査ワーキンググループより、食物摂取頻度調査票の再現性・妥当性に関する研究の進捗状況が報告された。

10. データ・生体試料保管の災害対策

中央事務局より、災害に備えた生体試料、データの保管体制が報告された。

11. 論文作成・学会発表の進捗状況

中央事務局より、J-MICC Study のこれまで10年間の業績が報告された。

12. 理研で遺伝子型を決定しての横断研究の進捗について

遺伝子多型横断研究ワーキンググループより、理化学研究所で遺伝子型を決定しての横断研究の論文作成進捗状況が報告された。

13. GWAS 共同研究について

中央事務局より、GWAS 共同研究の進捗状況ならびに今後の予定について説明がなされた。

14. ホームページについて

中央事務局より、J-MICC 研究のホームページのリニューアルおよびインタビュー企画について説明がなされた。

15. 慶應義塾大学 鶴岡メタボロームコホートの研究について

慶應義塾大学の原田先生より、鶴岡メタボロームコホート研究の進捗について、お話をいただきました。

16. 山形大学 分子疫学コホート研究について

山形大学の川崎先生より、山形県コホート研究の進捗について、お話をいただきました。

17. 東北大学 東北メディカル・メガバンクの研究について

東北大学の寶澤先生より、東北メディカル・メガバンクの進捗について、お話をいただきました。

18. いわて東北メディカル・メガバンクの研究（共同研究報告を含めて）について

岩手医科大学の清水先生より、いわて東北メディカル・メガバンクの研究進捗について、お話をいただきました。

19. コーホート研究実施グループの調査進捗状況

各コーホート研究実施グループより、調査進捗状況の報告がなされ、質疑応答が行われた。

20. その他